

各位

2021年6月4日
TCS ホールディングス株式会社

「TCS グループ及び株主提案について～NCHD グループのさらなる発展に向けて～」
及び「株主提案における NCHD グループの運営の基本的な考え方」に関するお知らせ

表題につきまして、当社は投資家および NCHD グループの従業員の皆さまに向けた説明会を開催しております。私共が株主提案をするに至った経緯、その内容、目的、さらには今後の方向性について、本資料にまとめましたので、ここに公開いたします。

関係者の皆さまにおかれましては、本資料をご覧いただき、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上

TCSグループ及び株主提案について ～ NCHDグループのさらなる発展に向けて ～

目次

1. TCSグループについて

- 1-1. TCSグループの決算情報
- 1-2. アライアンス事業について
- 1-3. ITソリューション事業について

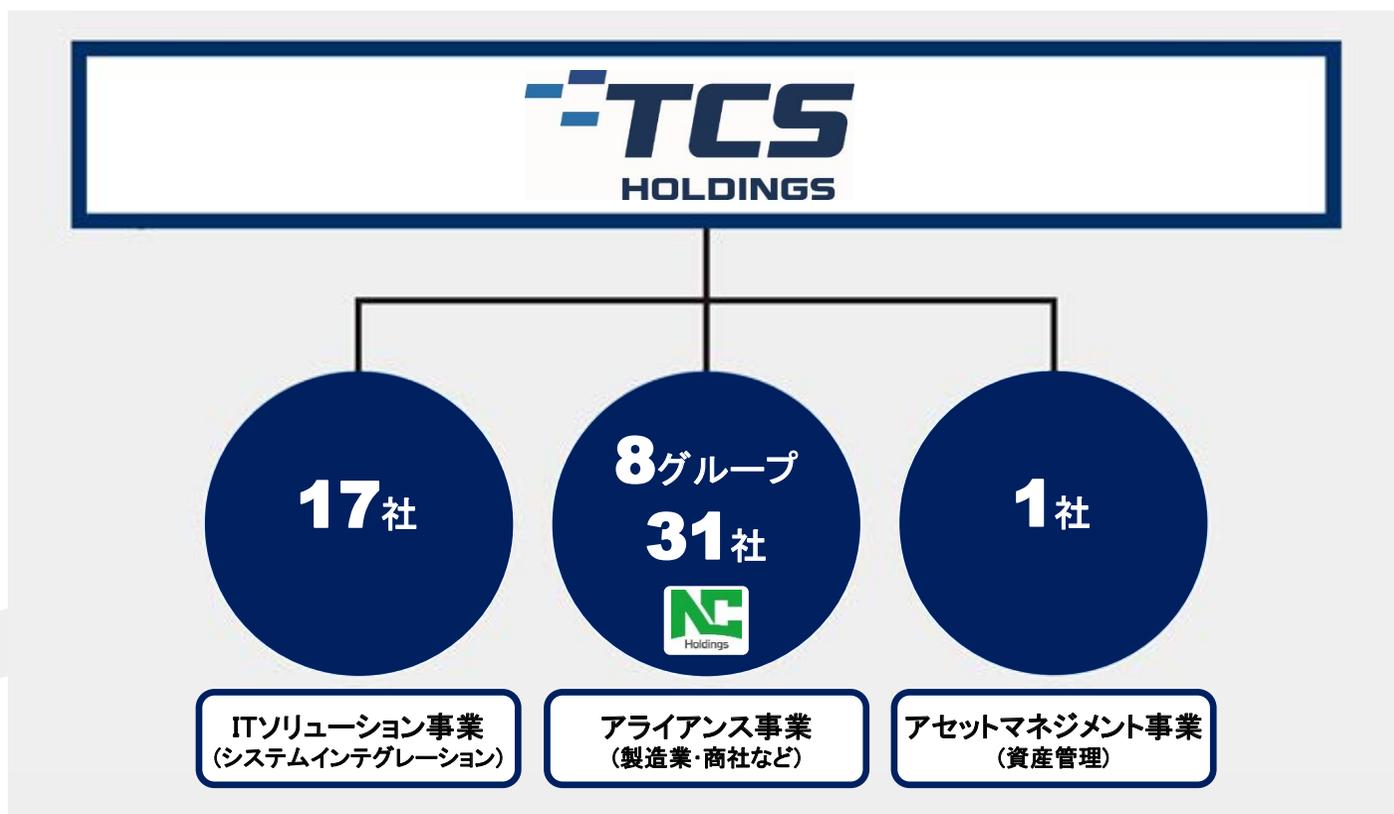
2. 株主提案について

- 2-1. 株主提案の経緯
- 2-2. 株主提案の内容
- 2-3. 株主提案の目的

1. TCSグループについて

TCSグループは、ITソリューション事業を中核として、製造業・商社とのアライアンスを展開する総合エンジニアリング企業です。

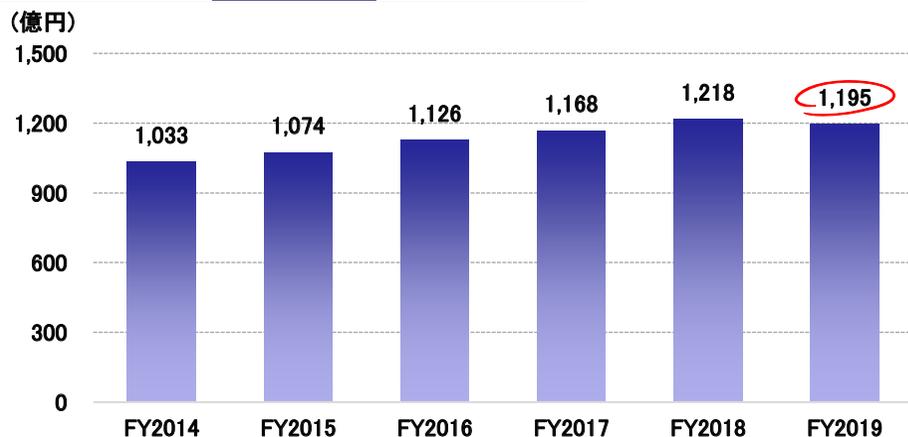
TCSグループを管理するTCSホールディングスは、グループ全体の管理と最適化を行い、更にグループ会社間のシナジー創出に向けた様々な活動を展開しています。



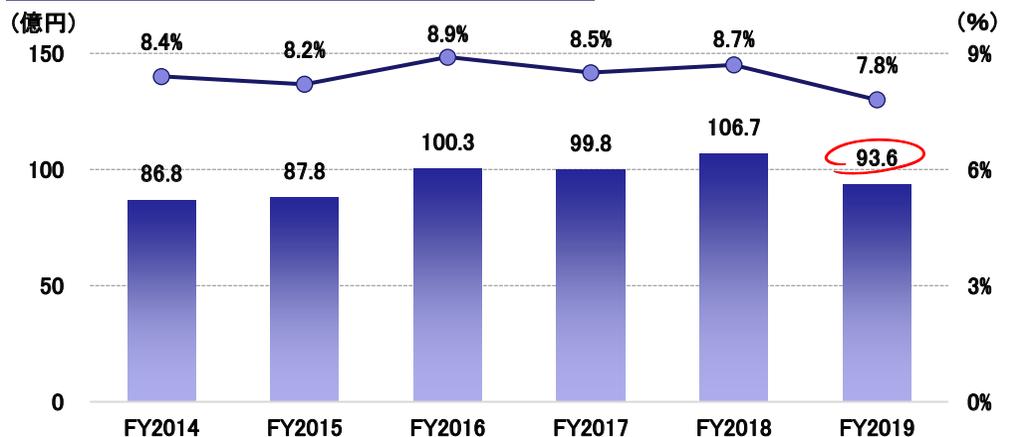
1-1. TCSグループの連結決算情報

TCSグループ全体として売上高 約1,200億円・経常利益 約100億円の事業規模となっており、自己資本比率68.8%という安定した財務基盤を持っています。

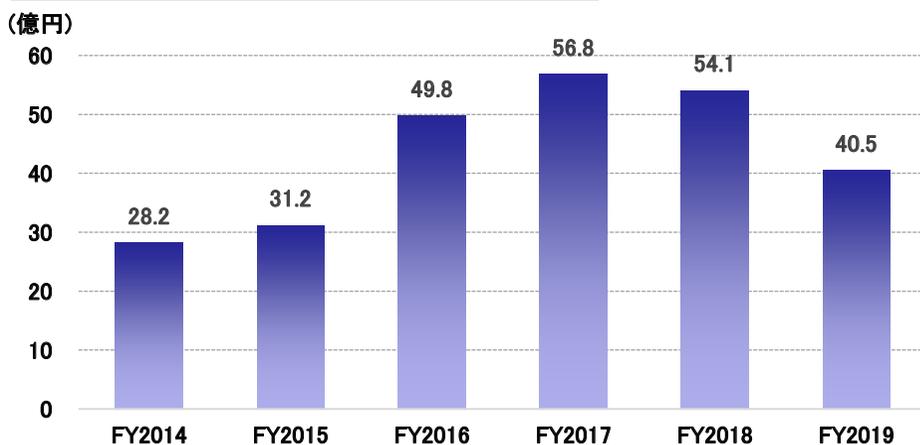
売上高



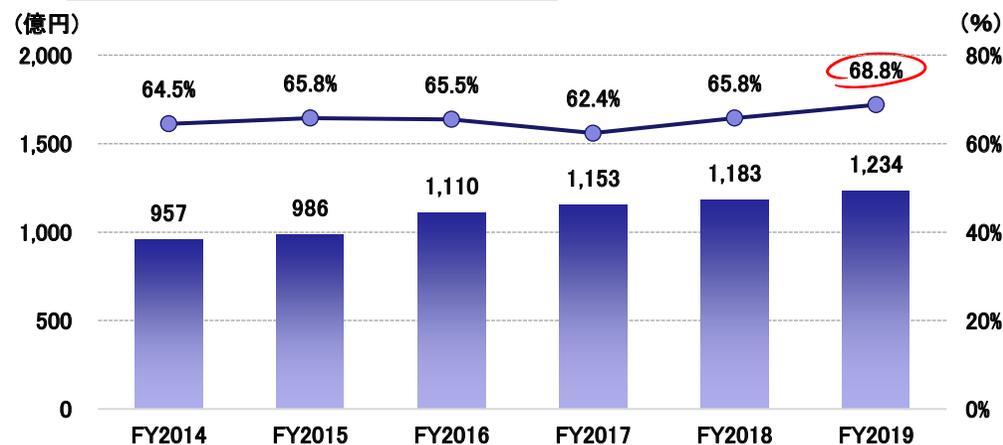
経常利益および売上高経常利益率



当期利益



総資産および自己資本比率



1-2. アライアンス事業について

業務提携した企業と共同で行うアライアンス事業では、既存事業とのシナジーによって、より付加価値の高い製品・サービスを創出しています。

NCホールディングス(株)



※1982年 東証一部上場

設立 1949年
 資本金 38億円
 所在地 東京都千代田区鍛冶町

<主な事業内容>

- ① 各種コンベヤと付帯設備の設計・製作・販売・施工
- ② 立体駐車装置の販売・設計・製造・建設・アフターサービス・運営委託管理
- ③ 太陽光発電システム機器の販売・据付、太陽光発電所の分譲販売
- ④ 大型・重量物搬送装置の設計・施工・保守



MUTOH

MUTOHホールディングス(株)

※1985年 東証一部上場

設立 1952年(創業:1942年)
 資本金 101億9,900万円
 所在地 東京都世田谷区池尻

<主な事業内容>

- ① 大判プリンタ・3Dプリンタ
- ② 情報システム(CAD周辺機器)
- ③ 設計 / 計測機器
- ④ スポーツケア用品

SEKONIC

(株)セコニック

※1963年 東証二部上場

設立 1951年
 資本金 16億900万円
 所在地 東京都世田谷区池尻

<主な事業内容>

- ① 光学電子情報機器
- ② 計測機器
- ③ 映像応用機器
- ④ 無機エレクトロ・ルミネッセンス(EL)
- ⑤ 複写機ユニット・プロッタ・表示パネルなど

明治機械株式会社

明治機械(株)

※1949年 東証二部上場

設立 1925年(創業:1899年)
 資本金 14億1,405百万
 所在地 東京都千代田区神田多町

<主な事業内容>

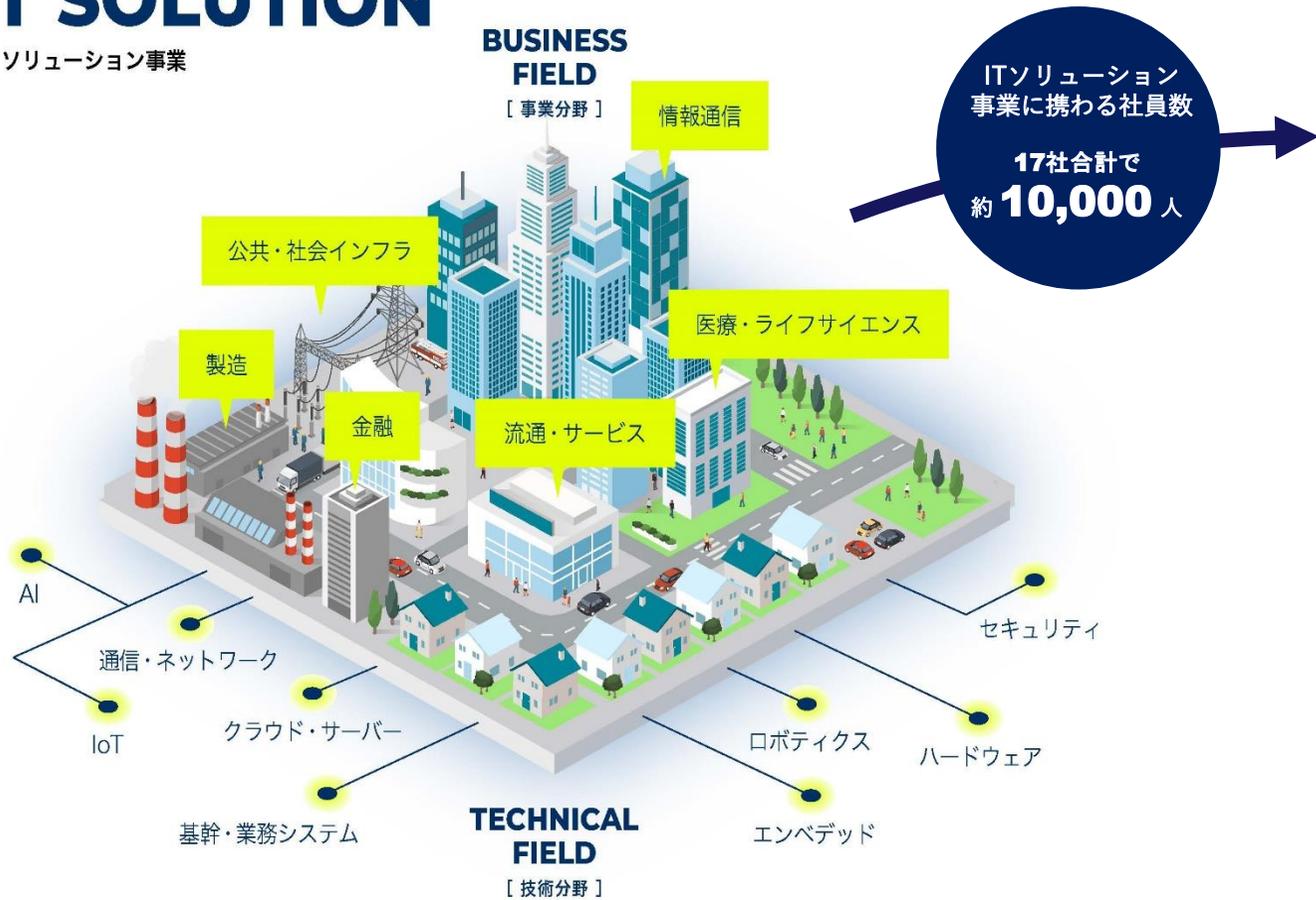
- ① 粉碎・分級・精選・混合等の産業機械
- ② 飼料プラント等のエンジニアリング・建設
- ③ 太陽光発電 接着架台工法「エスノンホール」
- ④ 遮熱塗料「GAINA」
- ⑤ サビ腐食補修「バリュー工法」

1-3. ITソリューション事業について

ITソリューション事業では、情報システムの提案から設計・構築・導入・運用・保守まで、総合的なワンストップサービスを提供しています。

IT SOLUTION

ITソリューション事業



2-1. 株主提案を決断するに至った経緯

- **2020年8月：NCHDがM&Aを進めていた対象会社従業員からの告発**
代表以下3名のNCHD取締役が、M&Aの対象会社からの従業員引き抜きを計画、独立支援を約束する書面に個人名ながら自署・捺印をしていた。
 - ➡ 今後このようなことの無いよう注意すること、並びに取締役会での報告共有を要請
 - ➡ TCSHDへの口頭での謝罪のみで、取締役会では情報共有、議論はなされず
- **2020年12月：NCHDグループ従業員からの内部告発**
NCHD従業員からパワハラの内告があった。証拠の録音データの中に取締役会や株主を軽視する発言が多々あった。
 - ➡ 取締役会軽視及び株主軽視の姿勢を改めるよう要請
 - ➡ 取締役会の運営や株主に対する態度に変化なし
- **2021年4月：取締役会での不適切な取締役選任議案**
従前の協議内容とは全く異なる、モノづくりとは程遠い役員候補案を提出し強行採決
 - ➡ 当社は急遽対応する形で株主提案を提出
 - ➡ その後も、フェアに総会で決するという確認にも拘らず、株主提案に対する妨害が継続

2-2. 株主提案の内容

「健全性の確保」「技術やモノづくりの強化」「後継者育成」の内部改革を進め、また「TCSグループとのシナジー」を加速させるため、今期は従業員幹部を中心とした下記の取締役7名の選任を提案します。監査等委員含め社外取締役比率は20%となりますが、内部改革が完了次第、来期にも独立性のある外部有識者の積極登用を進める予定です。

候補者名	主な経歴	期待する役割
高木 俊幸 たかぎ としゆき (代表取締役)	パナソニック NCHD取締役(現任)	モノづくりにおける製造・開発・営業の一連の事業プロセス改革 取締役会を重視した健全な経営と企業の持続的成長
高山 正大 たかやま まさひろ	TCSグループ各社 NCHD取締役(現任)	経営者としての豊富な経験・実績と優れた知見による意思決定 TCSグループとのシナジー創出
吉川 勝博 きっかわ かつひろ	日本コンベヤ	NCHDグループでの経験を活かしたコンベヤ事業の更なる発展
田中 太一郎 たなか たいちろう	エヌエイチ パーキングシステムズ	NCHDグループでの経験を活かしたパーキング事業の更なる発展
石田 稔夫 いしだ としお	日本コンベヤ	NCHDグループでの経験を活かした管理機能の統括
高山 芳之 たかやま よしゆき	TCSホールディングス	経営者としての豊富な経験・実績と優れた知見による意思決定 TCSグループとのシナジー創出
牧田 篤哉 まきた あつや	パナソニック 日本コンベヤ	モノづくりにおける製造・開発・営業の一連の事業プロセス改革 NCHDグループでの経験を活かした営業企画機能・経営企画機能の統括

2-3. 株主提案の目的

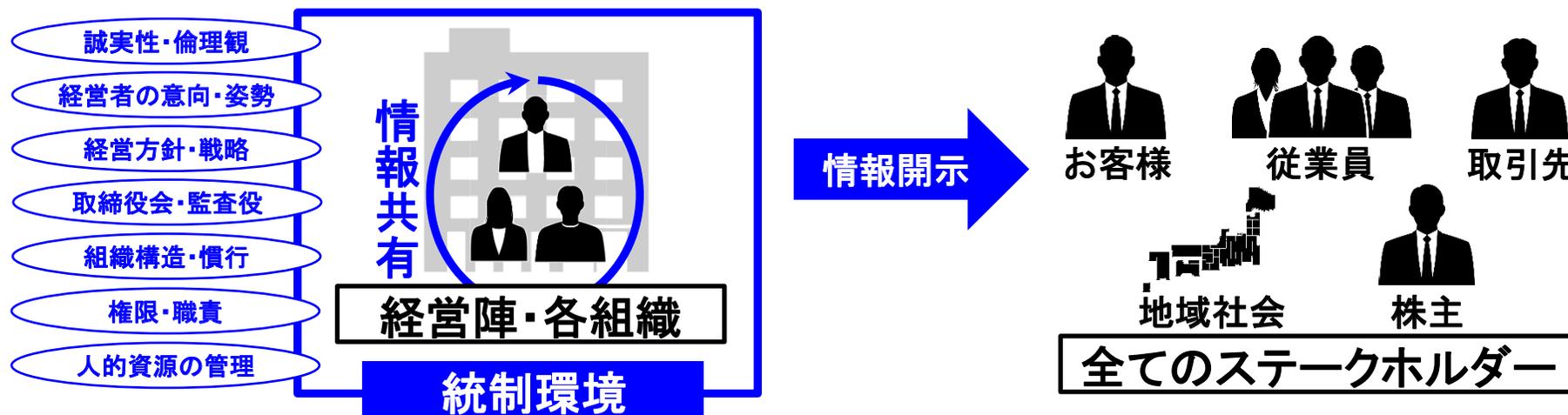
会社のガバナンス上解決すべき問題を早急に改善し、経営の健全性を確保します。

① 健全な取締役会の運営と情報開示

- 中期事業計画の策定を行い、経営陣・ステークホルダーで方針を共有した上で直近の課題解決に向けた活動を実施します。
- M&Aやジョイントベンチャー設立は、ロングリストを作成・共有した上で優先順位を明確にして推進します。

② 内部統制の再構築（統制環境の見直し・整備）

- 経営者自ら、誠実性を旨とする高いレベルの倫理観に基づき、社会的責任を十分に認識しながら、企業活動を行うための基礎・基盤を再構築します。そして、NCHDの健全性を確保した上で、持続的な成長を可能にします。



株主提案における NCHDグループの運営の基本的な考え方

目次

1. 今後の方向性

- 1-1. 製造業としての基盤整備
- 1-2. IoT・ネットワーク技術の積極活用
- 1-3. 主要3事業を軸とした組織体制の整備
- 1-4. NCグループ内組織再編
- 1-5. 株主還元に向けた考え方

2. まとめ

1. 今後の方向性

製造業の本分に徹した会社としての基盤を確立し
企業価値の向上を図って参ります



1-1. 製造業としての基盤整備



(商品力強化、原価改善、品質改善、生産性向上)

1-2. IoT※・ネットワーク技術の積極活用



1-3. 主要3事業を軸とした組織体制の整備



1-4. NCグループ内組織再編



1-5. 株主還元に向けた考え方



※IoT:[Internet of Things] あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

1-1. 製造業としての基盤整備

① 基盤整備をした上で材工※・メンテナンス・サービス・ソリューションへ事業展開

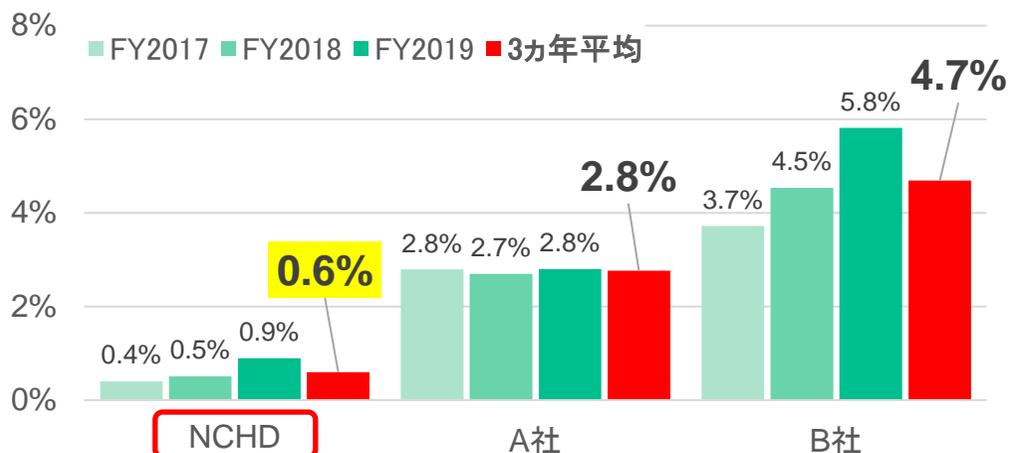
- 原価改善、品質改善、新製品開発、コア技術の育成強化を進め、商品力の強化を行い、メーカーとしての本分を強化します。
- モノづくりが強化された基盤をもとに、これまで進めている材工、メンテナンス、サービス、ソリューション事業を展開します。
- エヌエイチサービス(株)は今後も重点事業として強化を継続します。

※：材料+施工

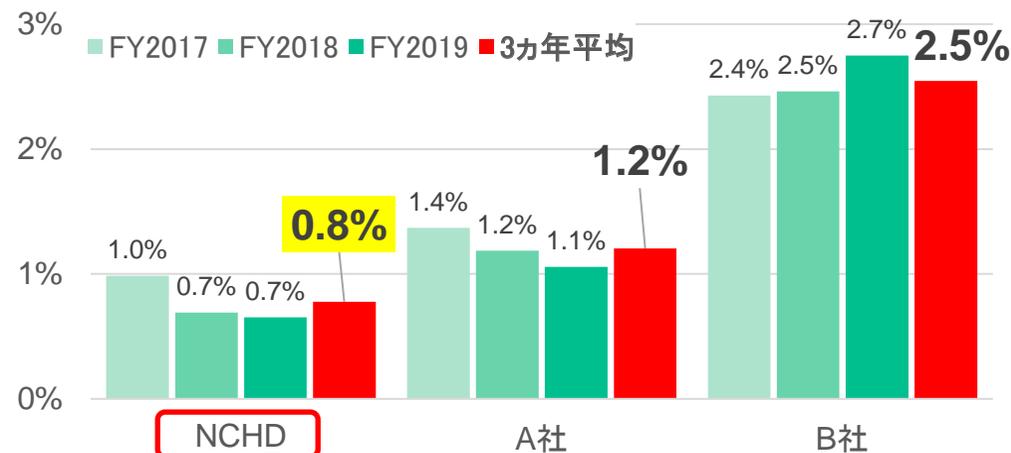
② 設備投資と研究開発費の考え方

- 将来を見据えたモノづくり強化のために、今後は段階的に設備投資額を売上比2%超、研究開発費を売上比2%超へ引き上げます。

現状の設備投資額 売上高比率 3社比較



現状の研究開発費 売上高比率 3社比較



1-2. IoT・ネットワーク技術の積極活用

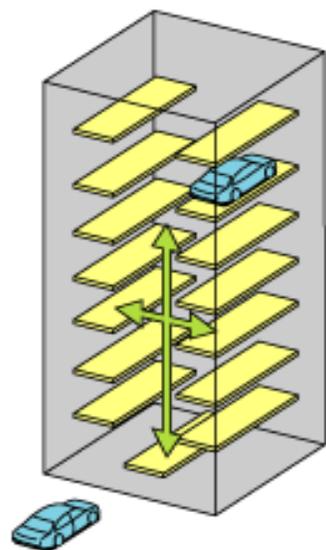
① TCSグループとの技術連携によるシナジー創出

- TCSグループの強みであるITソリューション事業をベースにした「IoT技術」と「ネットワーク技術」を最大限活用することで、お客様が期待する商品・サービスの提供を目指します。

TCSグループとのシナジー事例 (パーキングの遠隔監視・保守+AI活用)



お客様の利便性向上 ↑

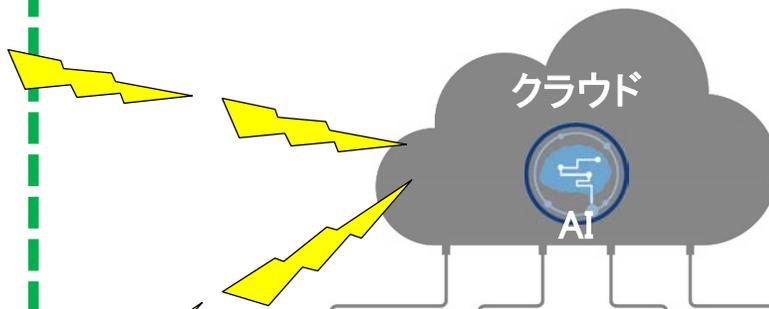


日本コンベヤ株式会社

立体駐車場の設計・開発



エッジデバイス※



TCS GROUP

システム開発・保守
付加価値の提供(AIデータ解析など)



エヌエイチサービス株式会社

ジャパンパーキングサービス株式会社

遠隔監視・保守(保全費用の低減)

※ エッジデバイス
インターネットに接続された製品

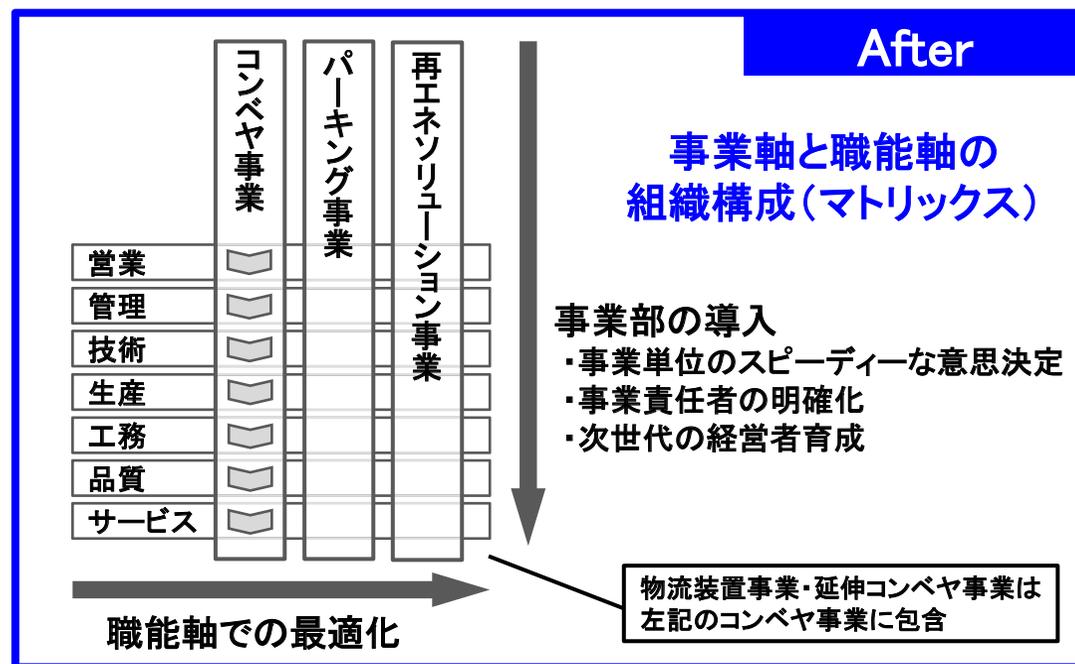
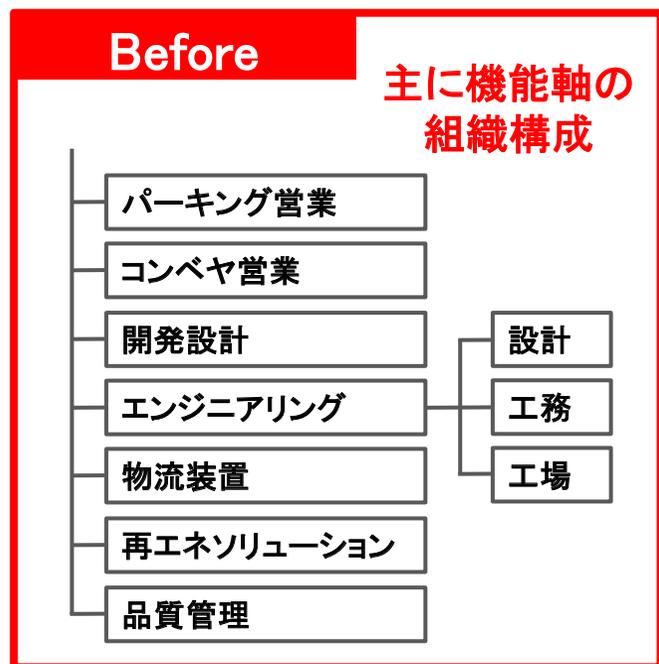
1-3. 主要3事業を軸とした組織体制の整備

① 事業部制の導入および目的

- 主要3事業(コンベヤ事業・パーキング事業・再エネソリューション事業)の事業責任者を設け、開発・製造・営業・サービスを縦通しで事業運営します。
- 事業部制の導入によって、お客様から事業責任者の顔が見える組織運営を行います。
- 権限移譲によるスピーディな意思決定と、次世代の経営者育成に繋がります。

② 事業軸と機能軸のマトリックス経営

- 機能責任者を設けることで、事業に横ぐしを通した全社最適視点で事業部を支えます。



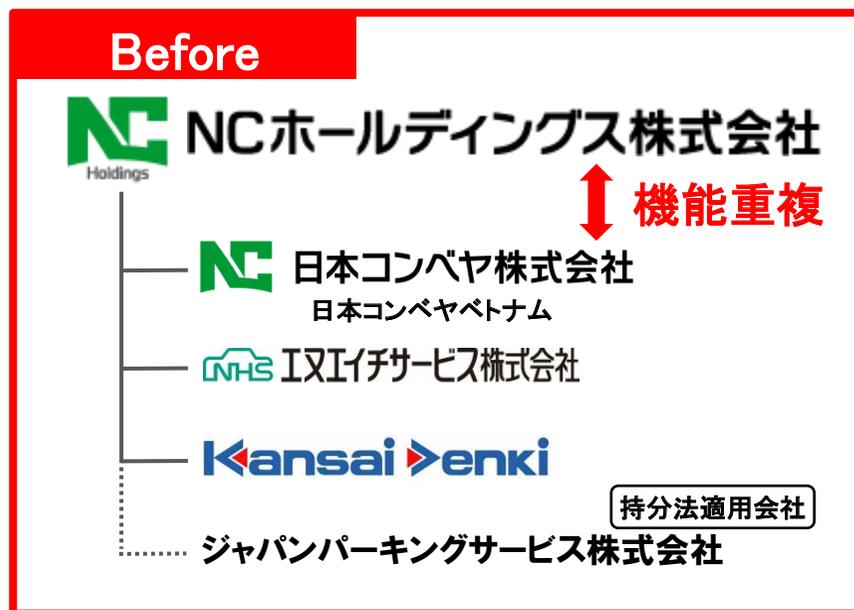
1-4. NCグループ内組織再編

① 組織再編の目的

- ホールディングスの機能が事業会社と重複しているため、組織構成の見直しを行うことで、経営のスピードアップと効率化を図ります。

② NCグループ内の再編内容

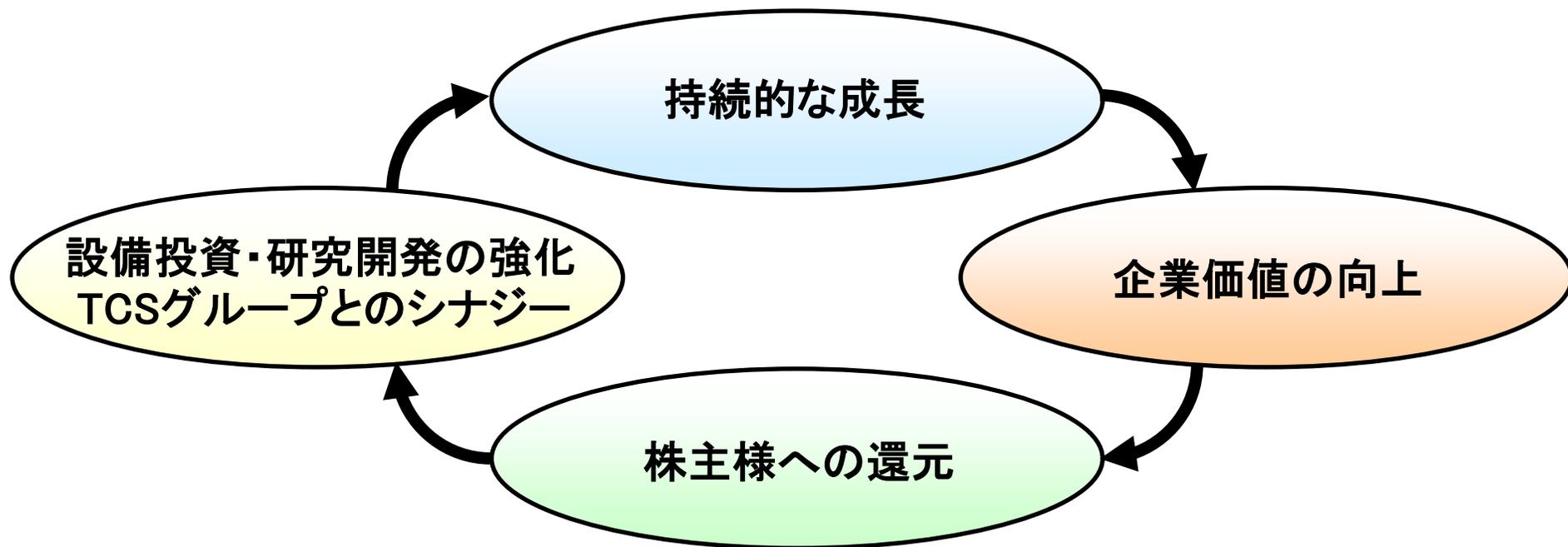
- 日本コンベヤ(株)を親会社として、傘下にエヌエイチサービス(株)、関西電機工業(株)、ジャパンパーキングサービス(株)を持つ形態へ変更します。
- 上場会社名はNCホールディングス(株)から日本コンベヤ(株)に変更予定です。
- 実質的に機能が集約している大阪を本社として、東京も含めた二本社制の導入を検討します。



1-5. 株主還元に向けた考え方

設備投資・研究開発を強化し、更にTCSグループとのシナジーを創出することで、持続的成長を実現します。

同時に、株主の皆様にも報いるべく、中長期的には配当性向30%を目指し、経営に取り組んで参ります。



2. まとめ

- ① NCHDグループが、TCSグループの一員として、健全性の高い経営を行うことで、お客様・お取引先様から更に信頼を獲得し、従業員の皆様が安心して働くことのできる会社にしていきます。
- ② NCHDグループが、製造業の本分に徹した会社としての基盤を再確立し、株主の皆様のために企業価値向上を図ります。
- ③ 企業価値向上の実現に向け、TCSグループのIoT技術を中心とした経営資源を全面的に活用していきます。
- ④ お客様目線での価値創造を実現するために、モノづくり・IoT活用に経験豊富な経営陣が事業運営していきます。

